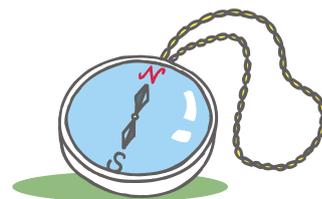


羅 針 盤

第 1 号

令和2年（2020年）4月27日（月）



◆ 朝の来ない 夜はない

生徒の皆さん、2月29日から臨時休業が始まり、春休みに入って部活動が一時的に再開はされたものの、4月に入ってから部活動も休止となり、その後、政府からの「緊急事態宣言」が発令されたことにより、春休み終了までとなっていた休業期間も延長され、現在は5月6日までは臨時休業期間となっています。春休みを挟んで「自宅待機」がこれほどの長期間に及ぶ事態となることは、誰一人として経験したことがないことです。始業式も実施が先延ばしとなり、学校再開の目途すらも、はっきりとはしないままで月日だけが過ぎていき、生徒の皆さんにとっては、友だちと自由に会うことすらままならない状況が続いていて、君たち一人ひとりにとっての心身の負担は計り知れないものであると日々感じています。先生たちも、明るく元気な姿の君たちと対面して話をする機会もなく、とても残念であり、日々君たちがどのように過ごしているのか心配な気持ちでいっぱいです。でも、今は私たちだけではなく世界中の人々が大きな困難に直面しています。ホームページでは、校長室だよりを通じて、『朝の来ない夜はない』というメッセージを君たちに送らせていただいています。今は大きな困難をじっと耐えしのぐ日々が続いていますが、いつか必ずこの事態は終息を迎え、解決に向かっていくと信じています。このような時だからこそ、日々努力することの大切さや、時間を無駄にしないこと、そして、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを大事に毎日過ごしてほしいと思っています。

保護者の皆さま、校長室だより「羅針盤」を通じて、私から子どもたちにメッセージを届けたいと考えています。保護者の皆さまにも、お子様とご一緒にお読みいただければ幸いです。（校長 坂井 伸治）

◆ 再開できる日を 楽しみに！

新型コロナウイルスが終息し、大切な人と再会できることを願ったイラストレーターのタナカサダユキさんの短歌イラストの作品が反響を呼んでいるそうです。「コロナ」の3文字が「君」になることに気付き、終息したら「真っ先に大切な人に会いに行きたい、その切なる想いを『君』という言葉に託す」という発想から、短歌風のキャッチコピーにしたそうです。大きく描かれた「君」という字を、色鮮やかな妖怪「アマビエ」が優しく見守っている心あたたまるイラストです。



4月1日に、校長として着任しました坂井伸治（さかいしんじ）です。よろしくお願いいたします。夢をきり拓く子どもたちのために、道標（みちしるべ）となるようにという願いを込めて、校長室だよりを羅針盤（らしんばん）と名付けました。住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開していく所存です。また、学校ホームページでは、日々の教育活動の様子等を、公開していきますので、是非アクセスしていただき、ご覧ください。（校長 坂井 伸治）

